

## 2018年度大学院修士課程の講義科目 (参考)

区分	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数
共通基礎科目	総合危機管理特論Ⅰ(基盤)	4	リスク評価科目	表層地質環境特論	2
	総合危機管理特論Ⅱ(環境・動物)	4		水環境・化学物質リスク特論	2
	総合危機管理特論Ⅲ(災害・社会)	4		生命環境特論	2
	総合危機管理特論Ⅳ(医療技術)	4		産業災害特論	2
演習科目	総合危機管理演習Ⅰ(環境・動物)	4		火災・爆発特論	2
	総合危機管理演習Ⅱ(災害・社会)	4		災害心理特論	2
	総合危機管理演習Ⅲ(医療技術)	4		健康危機管理特論	2
	総合危機管理演習Ⅳ(応用)	4		医療危機管理特論	2
	特別研究	10		流体科学特論	2
				地球環境教育特論	2
				情報危機管理特論	2
				社会リスク評価特論	2
				交通輸送危機管理特論	2
				動物危機管理特論	2

※総合危機管理特論Ⅰは必修、総合危機管理特論Ⅱ～Ⅳから2科目以上選択  
演習科目から1科目以上選択、リスク評価科目から3科目以上選択

### ■ 入試日程

入試区分	課程	資格審査期間	審査結果発表日	願書受付期間(必着)	入試日
I期	修士	2018/7/30(月)～8/3(金)	8/24(金)	2018/9/10(月)～9/14(金)	9/19(水)
II期	修士・博士	2019/2/4(月)～2/8(金)	2/22(金)	2019/2/25(月)～3/8(金)	3/15(金)

※納付金 入学検定料 35,000円、入学金 200,000円  
授業料 650,000円、実験実習費 150,000円、施設設備費 150,000円、年学費計 950,000円

※サテライト教室へ通学する社会人学生は申請により、実験実習費が全額(15万円)、施設設備費が10万円減免されます。

## 2018年度千葉科学大学大学院サテライト教室の講義年間スケジュール(参考)

4月	4/7 入学宣誓式、オリエンテーション(本学・銚子)、4/14 演習(応用)、4/21 基盤、4/28 基盤
5月	5/12 基盤、5/19 基盤、5/26 基盤
6月	6/2 基盤、6/9 環境・動物、6/16 災害・社会、6/23 医療技術、6/30 環境・動物
7月	7/7 災害・社会、7/14 医療技術、7/21 環境・動物、7/28 演習(応用)、
8月	8/4 特論(産業災害)、8/11・8/18 夏期休業、8/25 特論(産業災害)
9月	9/1 特論(産業災害)、9/8 特論(情報危機)、9/15 災害・社会、9/22 災害・社会、9/29 特論(情報危機)
10月	10/6 医療技術、10/13 動物・環境、10/20 特論(情報危機)、10/27 演習(応用)
11月	11/3 休講、11/10 演習(応用)、11/17 医療技術、11/24 環境・動物
12月	12/1 災害・社会、12/8 医療技術、12/15 医療技術、12/22 環境・動物
1月	1/12 災害・社会、1/19 演習(応用)、1/26 特論(社会リスク評価)
2月	2/2 特論(社会リスク評価)、2/9 演習(応用)、2/16 休講、2/23 特論(社会リスク評価)
3月	3/2 特別講義、3/9 特別講義、3/25 修了証書授与式(本学・銚子)

問合せ先

**千葉科学大学  
入試広報室**

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番  
TEL 0120-919-126(フリーコール)、0479-30-4545(直通)  
ホームページ: <http://www.cis.ac.jp>、メール: [koho@cis.ac.jp](mailto:koho@cis.ac.jp)

社会人対象: 修士(危機管理学)、博士(危機管理学)学位取得

# 千葉科学大学 大学院危機管理学研究科 東京サテライト教室 入学案内



## 学校法人加計学園 千葉科学大学 大学院危機管理学研究科 危機管理学専攻 修士課程・博士課程(後期)

東京サテライト教室: 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-4-7  
喜助九段北ビル4階402号室

(詳細は裏面の問合せ先へお願いします。)

学部構成: 危機管理学部、薬学部、看護学部

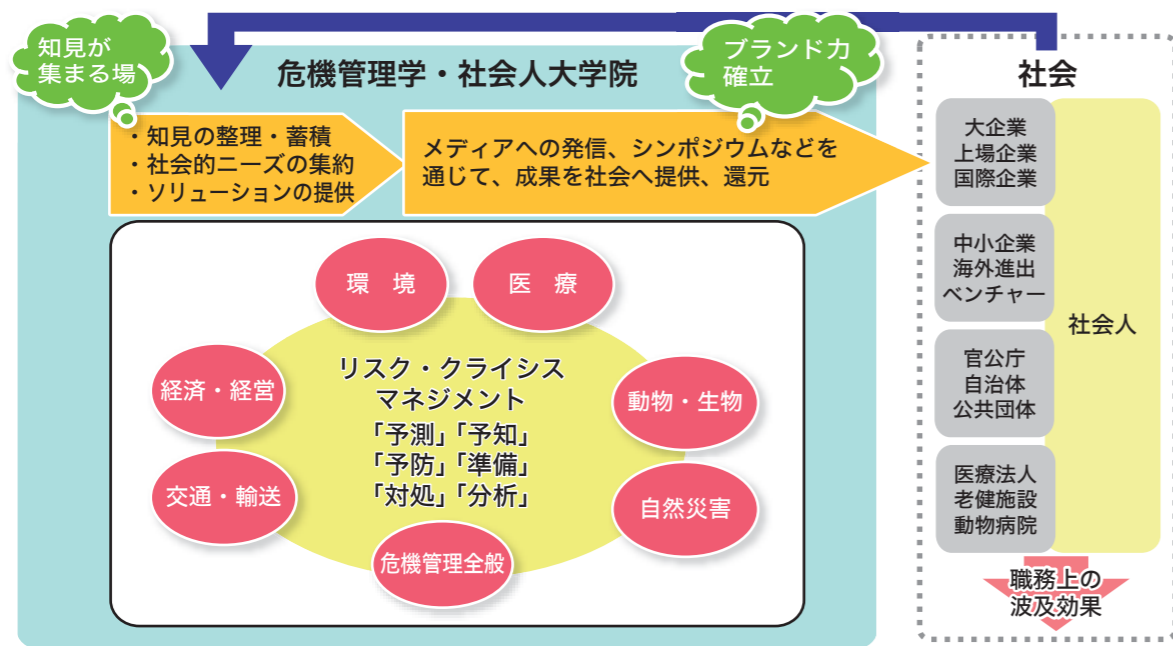
千葉科学大学大学院危機管理学研究科の修士課程では、文系理系にかかわらず学修可能な、専門に偏らない90分講義を年間200コマ以上開設し、リスクマネジメントの国際標準規格ISO31000や事業継続マネジメントの国際標準規格ISO22301などを含む危機管理学の基礎学力および環境・災害・医療技術の各分野におけるリスク評価に関する専門分野を分野横断的に学修することによって幅広い専門的知識と広い学識を修得し、自ら課題を発見し解決する能力を育成します。高度技術者として自己の研究を発展させる他、危機管理の実践的専門家として自ら課題を発見し、所属職場の危機対応マニュアルなどを研究することも出来ます。なお、修士の学位は最短1年で取得可能です。

博士課程では、高度なリスク評価に関する専門知識と危機管理の深い学識をさらに発展させます。

講義は、本学教員が毎週入れ替わり対話型授業を展開し、危機管理の実務に携わる霞が関中央省庁の政策担当者や民間の専門家の出講を受け、毎週土曜日に行います。土曜10:30～の講義は公開し、聴講を歓迎します。なお、2014年度から学納金減免制度を設け、社会人の学び直しを支援しています。

## 社会人対象の危機管理学大学院教育の目的とゴール

- 1) 全国で唯一の「危機管理学」にかかる実践的教育・研究を行う社会人大学院
- 2) 霞が関省庁の危機管理担当者および民間専門家からなる実務家講師の出講
- 3) 修士論文研究のゴールとして、所属組織の「危機管理マニュアルづくり」も設定
- 4) 対話型授業を通じた社会人参加者間の情報交換、危機管理コミュニティの形成
- 5) 官公庁・企業等を巻き込んだ「危機管理」に関する先進的事例・知見の集約



### これまでの国・中央省庁からサテライト大学院への講師出講

総務省消防庁 環境省 (独) 科学技術振興機構 財務省 内閣府防災担当 愛知県防災局  
農林水産省 農林中金 警察庁 警察大学校 厚生労働省 衆議院議員 宮城県仙台市

### これまでの民間・専門機関からサテライト大学院への講師出講

東日本高速道路 構想日本 PHP研究所 秋田県立大学 セコムIS研究所  
ALSOK総合警備保障 SPネットワーク イルポンテ 三菱商事

(過去 4年間)

## 在籍社会人学生の一例： 国会議員政策秘書、千葉県庁職員、山武市広域行政組合消防士、病院看護師、病院臨床工学技士、大学教員、バイオ系企業職員

### 修了生からのメッセージ



2013年度修了 修士 (危機管理学)

本田三緒子

学校法人ヤマザキ学園  
ヤマザキ学園大学 准教授

私は、2013年度千葉科学大学危機管理学専攻修士課程を1期生として終了いたしました。学生時代に経済的な理由で大学院進学が叶わず、また地方公務員の時代は職務で忙しく余裕がありませんでした。11年前に大学教員に転職し、学位取得の夢は諦めませんでした。職場の上司の薦めもあって、サテライト教室で学び学位を取得し2014年10月に准教授に昇任しました。現在もこの勉強を機会に研究や教学に生かして研鑽する毎日です。良い講師陣のもとで学べたことを感謝しております。



2014年度修了 修士 (危機管理学)

若林 継啓

国会議員政策担当秘書

私は、「勤めながら」も「1年という短期間」で「危機管理を総合的に学べる」ため、千葉科学大学大学院サテライト教室を受験し2015年に修了しました。本学の教授陣による「学問的な講義」、外部から講師を招いての「実学的な講義」、教授陣と学生による「討議の時間」、これらを複層的に受講できることが本学の魅力です。修士の称号を得るには、毎週土曜日の講義への出席とレポートの提出、1年で仕上げなくてはならない論文の作成などの苦難もありますが、修了すると大きな自信と力になります。是非本学の門を叩いてください。



2015年度修了 修士 (危機管理学)

古賀 華子

病院勤務 看護師

私は病院看護師として院内災害対策を担当したことがきっかけで危機管理に対する知識を深めるべく入学いたしました。サテライト教室は、多分野にわたる危機管理について、第一線で活躍されている方々の講義を聴くことができ、さらに、授業の中で講師の方や学生の皆様と社会人ならではの活発な意見交換を行うことで、様々な視点から多くを学ぶことができます。また、優しく親しみやすい大学院の先生方から、修士課程修了まで丁寧な指導を受けられることも魅力の一つだと思います。



2015年度修了 修士 (危機管理学)

齋木 啓太

日本赤十字社 さいたま赤十字病院  
医療技術部 臨床工学技術課  
臨床工学技士

私は、本学の学部卒業生で、2015年度に危機管理学研究科修士課程を修了しました。社会人経験を踏まえ受講した講義は、また新たな視点で考え、学ぶことができました。働きながら学び、修士の学位を得ることができたのは、日々の時間を有効に使うことは当然ですが、本学の先生方をはじめ職場の理解と協力があってこそと考えております。今後は、本学で学んだ危機管理学の基盤を、職場である臨床や研究に活かしていこうと考えています。支えて頂いた皆様に感謝申し上げます。



2015年度修了 修士 (危機管理学)

福山 貴昭

学校法人ヤマザキ学園  
ヤマザキ学園大学 助教

1年間で危機管理学修士を取得することができました。挑戦する際は職場・家庭への負担、自らの能力を考え不安もありましたが、先生方を中心とした大学のサポート体制のおかげで負担も不安も最小限で勉強に取り組むことができました。「大学院は研究だけでなく知識を詰め込む場でもある」という毎週末の講義は非常に楽しみな時間でした。現在は修士課程のテーマであった「ペット同行避難」の研究を熊本地震で実践しながら研究を継続しています。



2016年度修了 修士 (危機管理学)

馳川 ゆきの

特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター

2016年度に危機管理学研究科修士課程を修了しました。毎週の講義は、様々な分野の危機管理の専門家の先生方が講義をして下さり、日常の業務とは異なった視点で物事を見ることができた大切な時間でした。短い期間で論文を仕上げるのは大変なこともありましたが、指導教授や多くの先生方に熱心にご指導いただいたことも貴重な経験となりました。講義や修士論文で学んだことを実務に生かし、今後も研究を発展させたいと考えています。



2016年度修了 修士 (危機管理学)

福嶋 徹

鈴野化成株式会社 購買物流部 物流課課長  
Geo wonder企画 むさしの化石塾 代表

私は製造業管理職と地域自然史団体の代表業務を抱え、家庭では1歳児の父親という中で修学致しました。講義レポート提出と、修論研究の同時進行は困難を極め、様々な試練が重なりましたが、先生方と同期生の温かい励ましで無事乗り越えることができました。多くの先生方とご縁を頂いた講義は平素の喧騒を忘れる唯一の時間でしたが、心から感謝いたします。1年間での修士課程修了は大変なことですが、大きな財産となることは間違いありません。



2016年度修了 修士 (危機管理学)

渡辺 靖志

東京大学医学部附属病院  
診療放射線技師

病院では、診療放射線技師の業務の他、院内災害対策や従業員の労働安全管理などの業務を行っています。医療安全や防災、労働環境に関するリスク評価、分析、管理などについてより知識を深めるためにサテライト教室を受験しました。毎週の講義では、本学の先生方による学問的な講義に加え、さまざまな領域で活躍されている先生方を外部講師に迎え、関連法規や実務レベルでのリスクマネジメントについて学ぶことができました。研究では講義で学んだリスク評価方法などを取り入れることで、より理解を深めることができました。担当教授による研究指導を始め、大学のサポートもしっかり受けられます。後は、自分のやる気です！ぜひチャレンジしてみてください。